

平成30年度非常勤講師採用予定者調査書

所属（教職課程科卒業生）

新規／継続	学部／大学院	ふりがな 氏名	科目名	採用理由※1	開講期	曜日	時限 （集中の場合、時間数）	コマ数	本務先	職名	報酬ランク	（集中授業の場合）授業予定時期	開講部局	委嘱財源 ※2
1	継続	大学院	○○特別講義	A	前期	月	4限	0.5	具体的な日にちが未定の場合、授業実施予定の時期をお知らせください。			—	理のみ	非常勤教員人件費
2	新規	学部	△△実験第一	A	前期	集中	8	0.125	△△大学△△研究科	准教授	（准教授級）	5/1～6/30の間	理工のみ	非常勤教員人件費
3	新規	大学院	××特論	D	前期	集中	30	0.5	××研究所	主任研究員	C（講師級）	7/29, 30, 31, 8/1, 8/2	理のみ	研究重点教員支援制度
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
合計		3名		採用理由 A 2名 B 0名 C 0名 D 1名					開講期 前期 1名 後期 0名 通年 0名 集中 2名	報酬ランク A B C				0名 0名 0名

選択肢の略称は次の意味を表します。
・「理工」...理工学系or理工学研究科で開講
・「理」...理学部or理学研究科で開講
・「その他」...いずれにも当てはまらない場合
（具体的な状況を欄外かメール等でお知らせください。）

以下からご選択ください。
・「非常勤教員人件費」...通常の委嘱の場合
・「生命英語化」...生命で該当する科目の場合
・「研究重点教員支援制度」...制度を選択された先生の授業の代理として委嘱する場合
・「サバティカル」...同上

- （採用理由）
- A. 特殊な研究分野等を特殊講義として聴講させるためのもの
 - B. 本来必要とされる講座が未設置のため当該授業を補てんするもの
 - C. 講座は設置されているが欠員があるために教員の負担が増し、これの軽減を図るためのもの
 - D. 在職教員の休職・病欠・海外出張、特別研究期間取得者の欠を補充するためのもの

※2（委嘱財源）
通常は「非常勤講師予算」と記載してください。
それ以外の予算で雇用される場合は、個別の財源名を記載してください。
（生命英語化予算、研究重点教員支援制度予算、○○キャンパスから執行委任 等）